

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

安心・安全なデジタル社会の実現。デジタル社会における全てのヒト・モノ・コトに信頼を提供。

マイナンバーカード保
78.5%

EV証明書市場シェア
50.0%

IoT機器数予測
440億台

② 中長期の経営戦略

1. 人的資本投資と柔軟な組織

人材育成・新報酬制度・働き方改革・エンゲージメント施策を推進。組織体制の最適化で環境変化に対応。

3. グローバル展開

海外パートナーとの連携構築。The Alma Linux OS Foundation・OpenSSFへの参画でOSS貢献。

2. 事業領域拡大と成長領域投資

iTrust利用拡大、AlmaLinux・EMLinuxの長期サポート提供。M&Aなど資本提携で新領域に投資。

4. サービス提供能力強化

第二認証センター構築、24時間365日対応体制導入。耐量子計算機暗号・ブロックチェーン・C2PA研究開発。

③ 対処すべき課題

① デジタル社会での信頼基盤提供

- ・ DX進展と国際安全基準・法規制の動向に対応した信頼基盤の強化
- ・ iTrustの法規制による本人確認厳格化への対応
- ・ 電子署名・eシール・タイムスタンプなどの利用範囲拡大

② IoT・重要インフラセキュリティ

- ・ 2025年の440億台IoT機器増加に伴うサイバーセキュリティリスク対応
- ・ SBOM対応OS（AlmaLinux・EMLinux）の提供と長期サポート
- ・ 国際安全基準（SP800・IEC62443）と法規制対応

③ 市場競争力維持と成長加速

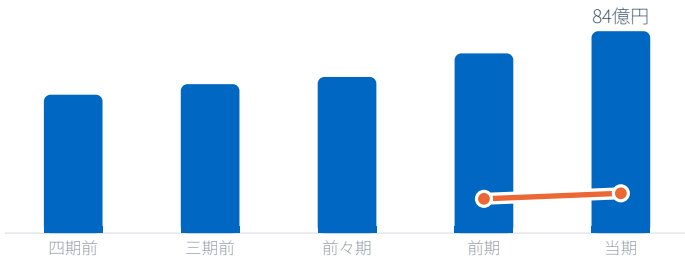
- ・ デバイス認証市場ほぼ独占状態の維持とクラウド利用拡大への対応
- ・ EV証明書市場シェア50%のNo.1地位強化
- ・ パートナー企業との協業による優位性確保

面接で使えるポイント

- ・ マイナンバーカード保有枚数率78.5%の普及進展を背景に、iTrustのオンライン本人確認利用範囲が拡大する市場機会を捉…
- ・ 2025年の440億台IoT機器増加に対応するため、SBOM対応のEmLinuxを重要インフラ15分野に提供し…
- ・ デバイス認証市場でほぼ独占状態を維持しながら、テレワーク定着・クラウド利用拡大によるデバイス証明書管理需要の成長に対応。

証券コード 4498

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
84億円営業利益率
19.7%財務健康度
81点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 56.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
738万円

情報・通信業内 163位/592社

平均年齢
41.0歳

情報・通信業内 155位/593社

平均勤続
10.4年

情報・通信業内 124位/593社

女性管理職
11.5%

情報・通信業内 235位/373社

男性育休
75.0%

情報・通信業内 196位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 福島市教育委員会が安全な校務環境の構築を目指し、サイバートラ

要するに
サイバートラスト株式会社の事業概要
…

主力事業・セグメント

・情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率19.7%と高い収益性
- ・財務健康度81点と財務基盤が健全
- ・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

